

会議参加者募集: Call for Participation

The 8th NTCIR Workshop Meeting NTCIR-8 成果報告会
Evaluation of Information Access Technologies: Information Retrieval, Question Answering and
Cross-Lingual Information Access

and

The 3rd International Workshop on Evaluating Information Access
第3回 情報アクセスの評価に関する国際ワークショップ (EVIA 2010)

June 15-18, 2010

使用言語: 英語

National Center of Sciences, Tokyo, Japan 学術総合センター(東京・千代田区)

主催: NTCIR-8 Meeting 実行委員会, 国立情報学研究所

<http://research.nii.ac.jp/ntcir/ntcir-ws8/meeting/>

NTCIR (エンティサイル、NII Test Collections for Information Retrieval and Access Systems) は、情報検索、質問応答、要約、テキストマイニング、機械翻訳など膨大な情報の中から所望の情報にアクセスし、情報の理解や活用を支援する技術の大規模な評価基盤を国内外の多数の研究者が共有し、その共通基盤の上でそれぞれの研究を進め、検証をし、相互に学びあうフォーラムを形成するプロジェクトです。1998年から開始し、IRとNLPの融合によるより豊かな情報アクセス技術の実現を標榜し、1年半を1サイクルとして、毎回、いくつかのタスク(=研究部門)を選択して活動を進めてきました。

第8回 NTCIR では、英日・英中間の複合的な質問応答と検索を対象とする高度言語横断情報アクセス(ACLIA)、地理・時間情報の検索(GeoTime)、日中英記事の意見分析(MOAT)、特許の統計的機械翻訳と言語横断検索(PATMT)、特許マイニング(PATMN)、コミュニティQA(Community QA)というタスクについて、17カ国の108団体がタスクに参加表明をし、実験を進めています。

EVIA 2010 は、情報アクセス技術の評価に関する研究発表を行う査読付きの国際ワークショップです。

成果報告会・EVIA 2010 は、どなたでもご参加いただけるオープン・イベントです。前回は、17ヶ国から200名以上の参加者があり、熱心に議論をしました。

招待講演:

-NTCIR-8 成果報告会: "Building Watson: A Grand Challenge in Automatic NL Question Answering"
6月16日(水) 10:30~ David A. Ferrucci (IBM Research) and Koichi Takeda (IBM Research)
アメリカの人気クイズ番組ジョパディ!に挑戦するQAシステムについて

-EVIA 2010: "Microsoft's Bing and User Behavior Evaluation"
6月15日(火) 13:00~ John Nave (Principal Development Manager, Search Technology Center, Microsoft) マイクロソフト検索エンジン Bing のビジョンと利用者評価

スケジュール:

DAY-1 (2010年6月15日) The 3rd International Workshop on Evaluating Information Access (EVIA2010, 評価手法研究について) と「NTCIR 入門」

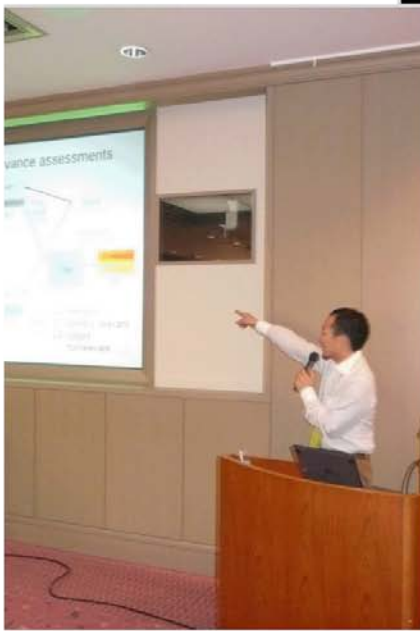
DAY2-4 (2010年6月16-18日) NTCIR-8 Meeting NTCIR-8 成果報告会

NTCIR-9のタスクの提案も募集しています

問合せ NTCIR プロジェクト プロジェクト・リーダー/実行委員長 **神門 典子** (かんだ のりこ) kando@nii.ac.jp
事務局: ntc-secretariat@nii.ac.jp

前回ワークショップの様

EVIA2008



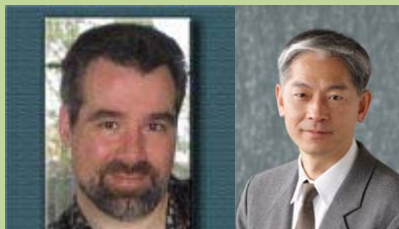
NTCIR-7 Meeting



December 16-19

NTCIR-8 Workshop Meeting Invited Talk
"Building Watson: A Grand Challenge in Automatic NL Question Answering"

David A. Ferrucci (IBM Research) and Koichi Takeda (IBM Research)



Deep QA project: <http://www.ibm.com/deepqa>